

九州デジタルエンジニアリング研究会(KDK)セミナー2025秋季 ご案内【11月14日】

九州デジタルエンジニアリング研究会 (KDK) in福岡2025秋季セミナーを ハイブリッド開催します。

◆日 時 / 2025年11月14日 (金) 13:00~17:15 (受付開始12:30)

◆会 場 / SCSK 株式会社 セミナールーム【地図】 <https://www.scsk.jp/corp/access/map05.html>

〒812-8542 福岡市博多区博多駅東1-17-1 (博多駅 筑紫口)

【地図】



コネクトスクエア博多10F

◆主 催 / 九州デジタルエンジニアリング研究会 (KDK) <https://kdk.sakura.ne.jp/>

◆参加費 / 無料 ◆定員 / 50名 (来所) 100名 (オンライン)

《スケジュール》

第1部 13:00~14:15 【司会: KDK 副会長 黒崎播磨 神尾 英俊】

【KDK】



◇Webアンケート案内 (URLまたはQRコードでのご入力をお願いします)

13:00~13:15 ◇開会挨拶

KDK会長 佐賀大学 萩原 世也

13:15~14:15 ◇基調講演

一般社団法人 MBD推進センター (JAMBE)

本田技研工業 株式会社

エキスパートエンジニア

青木 剛 氏

四輪開発本部 開発改革統括部 開発プロセス改革部 開発プロセス課

Aoki Takeshi

(講演50分・質疑10分) 「これからの自動車開発の姿と中小企業へのMBD/CAE普及に向けた最新取組みのご紹介」

(休憩 14:45~15:00)

第2部 15:00~16:45 【司会: KDK幹事 日鉄エンジニアリング 加来 貴之】

15:00~15:30 ◇事例紹介1

SCSK 株式会社

デジタルエンジニアリング事業本部 ソリューション推進部 部長

藤田 航介 氏

Fujita Kosuke

(紹介25分・質疑応答5分) 「SuccessChain シリーズによる「CAEの民主化」の実践を解説」

15:30~16:00 ◇事例紹介2

株式会社 電通総研

製造エンジニアリング本部 CAE技術部 部長

錦織 知彦 氏

Nishigori Tomohiko

(紹介25分・質疑応答5分) 「開発期間短縮に貢献するモデルベース開発からのCAE支援のご紹介」

16:00~16:30 ◇事例紹介3

福岡県工業技術センター 機械電子研究所

機械技術課 熱エネルギーチーム

村田 顕彦 氏

Murata Akihiko

(紹介25分・質疑応答5分) 「流体可視化・熱流体シミュレーションを活用した企業支援事例と多目的最適化の取組紹介」

16:30~17:00 ◇事例紹介4

株式会社 IDAJ

モデリング・ソリューション本部 解析技術6部 2課 シニアスペシャリスト 兼 課長

熊本 武文 氏

Kumamoto Takefumi

(紹介25分・質疑応答5分) 「EMC検証環境強化に向けたシミュレーション技術と実践的アプローチ」

17:00~17:15 ◇Webアンケート案内 (URLまたはQRコードでのご入力をお願いします)

★ <https://forms.office.com/r/vfZFqNv6UJ>

片付~退出



懇親会 17:30~

会費 4,000円 場所: 居酒屋 どげん海 ◆博多区博多駅東2-2-10

「KDK福岡2025セミナー」申込 下記、URL、または、QRコードにてお申し込みください。

★ <https://forms.office.com/r/eKaa9PHUHx>

※参加の連絡をいただいた方には、後日Zoomの情報をお送りします。

◆申し込み期限: 2025年11月7日(金) 18時 ※定員になり次第締切させていただきます。

◆お問い合わせ先: 九州デジタルエンジニアリング研究会 事務局 竹下 一博 (株式会社 デックス) まで

TEL 080-7003-0029

E-mail: takeshita.kazuhiro@dex-e.com

※駐車場は準備しておりませんので、お車で越しの方は会場周辺のコインパーキングをご利用ください。



講演概要

◇基調講演 一般社団法人 MBD推進センター (JAMBE)
本田技研工業 株式会社
四輪開発本部 開発改革統括部 開発プロセス改革部 開発プロセス課

エキスパートエンジニア
青木 剛 氏
Aoki Takeshi

「これからの自動車開発の姿と中小企業へのMBD/CAE普及に向けた最新取組みのご紹介」

【概要】

現在、自動車業界はCN・CASE・SDV対応や新興OEMとの競争、さらに貿易問題に直面しています。限られたリソースでの対応策として開発効率化が重要であり、構想・機能設計での1Dモデルや部品・製造設計での3Dモデルを活用したモデルベース開発が有効です。

JAMBEは製造設計効率化を目的に中小ものづくり企業への製造CAE普及を取組んでおり、啓蒙講演の開催、成功事例の紹介、デジタルものづくり塾の推進などをご紹介します。

◇事例紹介1 SCSK 株式会社
デジタルエンジニアリング事業本部 ソリューション推進部 部長
「SuccessChain シリーズによる「CAEの民主化」の実践を解説」

藤田 航介 氏
Fujita Kosuke

【概要】

SCSKが提供するSuccessChainの中でも、設計・開発から製造にかかわる業務課題とその解決策に焦点を当て、SCSKが独自に推進するマルチAIエージェントとPLMを活用した「CAEの民主化」の取り組みをご紹介します。

◇事例紹介2 株式会社 電通総研
製造エンジニアリング本部 CAE技術部 部長
「開発期間短縮に貢献するモデルベース開発からのCAE支援のご紹介」

錦織 知彦 氏
Nishigori Tomohiko

【概要】

モデルベース開発において重要な要素となるCAEについて、ソフトウェアの機能性/操作性向上、クラウド/HPCの普及による解析環境の整備、AIと連携した技術革新等によって、その活用が年々進んで来ています。

電通総研では、モデルベース開発からCAEを有効に活かすため、特に開発期間短縮という課題にフォーカスして多面的な支援を推進していますので、その具体例をご紹介します。

◇事例紹介3 福岡県工業技術センター 機械電子研究所
機械技術課 熱エネルギーチーム
「流体可視化・熱流体シミュレーションを活用した企業支援事例と多目的最適化の取組紹介」

村田 顕彦 氏
Murata Akihiko

【概要】

福岡県工業技術センター機械電子研究所では、流体の可視化技術による実測と熱流体シミュレーションを活用し、県内企業への技術支援を行っています。また、熱流体シミュレーションの自動実行環境を整備し、遺伝的アルゴリズムや応答曲面法を用いた効率的な設計探索の検討も進めています。本発表では、これまでの支援事例や活用装置に加え、最適化に関する取組についてもご紹介いたします。

◇事例紹介4 株式会社 IDAJ
モデリング・ソリューション本部 解析技術6部 2課 シニアスペシャリスト 兼 課長
「EMC検証環境強化に向けたシミュレーション技術と実践的アプローチ」

熊本 武文 氏
KumamotoTakefumi

【概要】

EMC検証においては、設計の早い段階から課題を把握し、対応策を検討できる環境づくりが重要です。

本講演では、後工程で顕在化しがちなノイズ課題を設計段階から先読みする視点や、検証プロセスにおけるシミュレーションの位置づけを示し、効率的かつ高度なEMC設計を実現するための方向性と展望を共有します。

◇Webアンケート案内 (URLまたはQRコードでのご入力をお願いします)
<https://forms.office.com/r/vfZFqNv6UJ>



懇親会 17:30～ 会費 4,000円 場所：居酒屋 どん海 ◆博多区博多駅東2-2-10
<https://www.hotpepper.jp/strJ001200870/map/print/>

